

ふじいでら 社協だより

No.44

平成26年10月1日発行

社会福祉法人

藤井寺市社会福祉協議会

〒583-0035 藤井寺市北岡1-2-8

ふれあいセンター(福祉会館)内

TEL 072-938-8220

FAX 072-938-8221

次回 <http://www.fujiidera-shakyo.net>

E-mail fureai@silver.ocn.ne.jp



丹北小山地区では、8名の福祉委員の方々が活動をされています。毎月の見守り声かけ訪問では、対象者の方一人ひとりの健康面の確認をしています。また、誕生日プレゼントを用意して訪問しています。

毎月の訪問を続けることで対象者の方々とも打ち解けます。毎月の訪問には誕生日プレゼントを用意して訪問しています。

丹北小山地区では、8名の福祉委員の方々が活動をされています。毎月の見守り声かけ訪問では、対象者の方一人ひとりの健康面の確認をしています。また、誕生日プレゼントを用意して訪問しています。

「ありがとう」を励みに

福祉フェスタは福祉委員会の主催行事で、ボランティアグループや地域の方々による演芸や軽昼食、ゲームを通して高齢者の皆さんに楽しいひと時を過ごしてもらっています。

開会すると、次々に出し物が始まります。バンド演奏など毎回、多彩な出し物があります。中でも地域の子どもたちによるキッズダンスは、とても盛り上がりります。小学生から幼稚園保育所に通っている小さな子まで、一生懸命にそしてとても上手なダンスを披露

福祉フェスタ

地区との連携

市内45地区で実施している福祉委員会活動。見守り訪問や食事会など、ひとり暮らし高齢の方が地域で安心して暮らせるように、様々な活動を開催しています。

藤井寺北ブロック福祉委員会
丹北小山地区

け、訪問を楽しみに待つてくださっています。

また、毎年11月には福祉フェスタが開催されます。

丹北小山地区の恒例行事となつていて皆さん楽しみにされています。今年の福祉フェスタもあと1ヶ月に近づいてきました。

してくれます。

そして最後はゲーム大会です。ゲームを通して自然と皆さんの会話も弾んでいきます。皆さんひとつずつ景品をもらってゲームは終了。参加された皆さんは笑顔で、帰宅されます。



福 祉 委 員 会 活 動 を 紹 介 し ま す !

小地域ネットワーク活動推進事業

心配ごと相談 (予約優先・先着順)

=あらゆる悩みのコンサルタント=

日常生活における家庭内での悩みごと、その他、心配ごとなどをお持ちのかたは、気軽にご相談ください。適切な助言、援助を行います。

日 時 每月第2、4火曜日 (祝日を除く)
午後1時30分～3時30分

場 所 ふれあいセンター (福祉会館1階)

相談員 民生委員児童委員

予約・問合せ先 藤井寺市社会福祉協議会

☎072-938-8220

ふくしまつり ボランティア募集

あなたも皆さんと一緒にふくしまつりを作り上げてみませんか?年齢、性別は問いません。ボランティアがはじめてのかたでも大歓迎です。

日 時 11月9日(日) 午前9時～午後4時

場 所 ふれあいセンター (福祉会館)

内容(例) ブースの手伝い (喫茶、出店、体験)
駐輪係 (自転車整理・誘導) 受付、
カメラマン、宣伝係など。

募集・問合せ先 藤井寺市社会福祉協議会

☎072-938-8220

お気軽にお問い合わせください。
(裏面も参考にご覧ください)

てもらえなかつたり市役所の職員と間違えられたりと苦労もありました。訪問時には対象者の方に寄り添って話を聞き、道で出会ったときには必ず声をかけ、地道な活動を続けていくうちに、「いつもありがとうございます!」「今日は楽しかった」となど

の声が返ってくるようになりました。

地域のためにと福祉委員を引き受け、初めて「福祉に関わったという委員の方が多いおられます。が、「ありがとうございました」というを励みに日々の活動に取り組まれています。

ボランティアセンターの基礎知識

ボランティアセンターは、通称「ボラセン」とも呼ばれ、ボランティアについての様々な役割を有する機関です。

藤井寺市のように社会福祉協議会と連携して設置されている場合が多いようです。

①ボランティアコーディネート

ボランティアをしたい方とボランティアを必要とする方の調整（コーディネート）を行います。藤井寺市では、毎年平均40件前後の調整を行うのですが、従来の電話による依頼だけでなく、電子メールによる依頼も出できました。

ボランティアセンターを活用し、ボランティアセンターの周知とボランティアの情報を提供しています。

③ボランティア育成

ボランティア体験事業（小学生ボランティア体験・夏のボランティア体験プログラム等）、手話などの専門的なボランティアの育成を行います。

④ボランティア連絡会

ボランティアセンターに登録しているボランティア団体・個人ボランティア同士の交流や、活動の場を広げるための支援を行い、つながりを持つことを目的としています。

⑤ボランティア活動保険付

- ・市民活動行事保険等受付
- 万一の事故に備え、保険の加入を受け付けています。

②情報発信・情報提供

ボランティア情報紙「プラム」（市内の公共機関や個人ボランティア・団体に、約750部。隔月で発行）、ホームページ

小学生ボランティア体験・報告

7～8月、市内の4年～6年生の小学生を対象に、全部で7つのボランティア活動体験を実施しました。

①手話体験 (30日(水)実施)



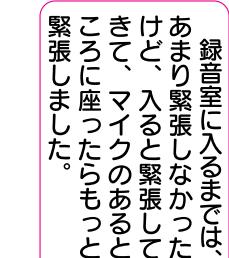
③おはなし読み聞かせ体験 (4日(月)実施)



⑤朗読体験 (6日(水)実施)



⑦お手玉体験 (8日(金)実施)



⑥ねむちやついり体験 (10日(金)実施)



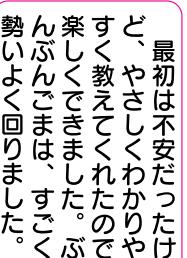
④認知症サポーター体験 (15日(火)実施)



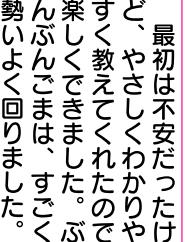
②点訳体験 (1日(金)実施)



③おはなし読み聞かせ体験 (4日(月)実施)



⑤朗読体験 (6日(水)実施)



この記事について、ご質問等がありましたら、ボランティアセンターまで直接お問合せ下さい。
TEL 072-938-8220
FAX 072-938-8221
メール fureai@silver.ocn.ne.jp

共同募金運動が
始まります！

共同募金運動は、毎年10月1日から12月31日までの3ヶ月間、全国いっせいに実施します。募金活動の種類としては、街頭で呼びかける街頭募金をはじめ、戸別募金、学校募金、法人募金、職域募金、バッジ募金があり、地域の方にも街頭に立って頂くなどご参加頂き、募金活動を行います。

赤い羽根には、勇気の象徴、善行または歓功の印など意味があります。赤い羽根には、勇気の象徴、善行または歓功の印など意味があります。

共同募金運動は、毎年10月1日から12月31日までの3ヶ月間、全国いっせいに実施します。

募金活動で集めたお金は、何に使われているのか皆さんが存知ですか。実は、集めた募金の約70%は、集めた地域で活用されています。募金は、地域に存在する地域課題や生活課題を解決するための活動の財源として、使われているのです。

共同募金運動が
始まります！

「ありがとう やさしい心を あなたのまちへ」

赤い羽根共同募金運動に ご協力をお願ひします！！



10月1日▶12月31日

募金の使いみち
www.akaihane.or.jp

●赤い羽根データベース「はねっと」をご覗ください。

赤い羽根が
シンボルです

「赤い羽根」は、共同募金運動のシンボルとして、長く使用されてきました。

日本で初めて使用されたのは、1948年、第2回目の運動です。アメリカで、赤い羽根を共同募金のシンボルとして使用したことからヒントを得て、日本でも使用するようになりました。

赤い羽根には、勇気の象徴、善行または歓功の印など意味があります。

募金活動で集めたお金は、何に使われているのか皆さんが存知ですか。実は、集めた募金の約70%は、集めた地域で活用されています。募金は、地域に存在する地域課題や生活課題を解決するための活動の財源として、使われているのです。

つまり、「地域の方々のやさしさが、地域をよりやさしくしてくれる」仕組みになっています。

今年は藤井寺市内で3箇所の施設と、社協の事業に対する配分を受けました。温かいご支援ありがとうございました。

・藤井寺市社協

福祉委員会活動事業、孤立死対応事業等

・ポプラ（生活介護）送迎用福祉車両の整備

・さくら福祉訓練所空調機2台、パソコン、ミシン整備等

・藤井寺市共同作業所送迎用福祉車両の整備

・藤井寺市社会福祉協議会活動促進を図る取り組みで、親父パーティーは、伴林氏神社で行つた公園イベントが高く評価され、奨励賞を受賞しました。

NICE！藤井寺親父パーティー（以下「親父パーティー」）は、団塊世代の男性を中心（実際に女性の方が多いです・）に“認知症になつてもいいきいき暮らせる町”

親父バーティー in
伴林氏神社

★今後も様々なイベントを予定しています。

なんと今回で受賞は3回になります。

平成26年3月31日、満開の桜の下、伴林氏神社において昔遊びや歌などを通し認知症の正しい理解促進を行いました。

春休みの期間に合わせて行つたことや、伴林氏神社関係者の皆さん、地区区長を初め、民生委員、福祉委員、老人会の皆さん、複数のボランティア団体など地域の様々な方の協力と、地域住民の皆さんに声掛けをしてもらえたおかげで、近隣の保育園の子ども達や春休み中の小学生、その親御さん達等総勢70名以上の方に来てもらうことができ、子供たち



どもからお年寄りまで世代間交流の機会になりました。

「NICE！藤井寺親父バーティー」が
またまたまた受賞！

第5回Make a CHANGE Day
(メイクア チェンジ ディ) 奨励賞を受賞

市内の募金活動

・募金箱の設置
20箇所を超える施設、店に設置

・街頭キャンペーン
10月1日（水）駅前、スーパー等 各所で実施

・ふくしまつり
11月9日（日）ブースを設け、募金活動を実施



は“まずは自分が楽しむ事”。自分たちが認知症になつても楽しく生活できることを想っている皆さんです。

今回受賞したMake a CHANGE Dayは全国各地（海外でも可）で一定期間内にボランティア・市民活動を行いボランティア活動促進を図る取り組みで、親父パーティーは、伴林氏神社で行つた公園イベントが高く評価され、奨励賞を受賞しました。

親父パーティーは、伴林氏神社で行つた公園イベントが高く評価され、奨励賞を受賞しました。

なんと今回で受賞は3回になります。

平成26年3月31日、満開の桜の下、伴林氏神社において昔遊びや歌などを通し認知症の正しい理解促進を行いました。

春休みの期間に合わせて行つたことや、伴林氏神社関係者の皆さん、地区区長を初め、民生委員、

福祉委員、老人会の皆さん、複数のボランティア団体など地域の様々な方の協

力と、地域住民の皆さんに声掛けをしてもらえた

おかげで、近隣の保育園の子ども達や春休み中の小

学生、その親御さん達等総勢70名以上の方に来て

もらうことができ、子供たち

【問い合わせ先】
藤井寺市社会福祉協議会
地域包括支援センター
☎ 072-937-266

第19回

ふくしまつり

平成26年11月9日(日)
9:45~15:00

場所 ふれあいセンター(福祉会館)

主催 第19回ふくしまつり実行委員会
藤井寺市社会福祉協議会

1階

- ・ポップコーン
- ・おでん
- ・わたがし
- ・ミルクせんべい
- ・焼きそば
- ・フランクフルト

- ・ふくびき
- ・ポケネット
- ・わなげ
- ・スーパーボール
すくい
- ・お茶、ジュース
- ・おにぎり
- ・焼き肉

2階

【各部屋】

- ・点字体験
- ・手話体験

【和室】

- ・お手玉遊び
- ・朗読、
大型紙芝居
- ・おはなし

【講座室】

- ・大正琴
- ・いきいき歌体操
- ・健康体力教室
- ・フラダンス
- ・唄ってバンド
- ・認知症啓発劇
- ・ゴスペル
- ・手話歌・体験
- ・吹奏楽

小学生以下対象
スタンプラリー
もあるよ!!

福祉会館前

・青空うたごえ広場

【協力団体】

身体障害者福祉協議会、母子寡婦福祉会、民生委員児童委員協議会、老人クラブ連合会、福祉委員会連絡協議会、藤井寺青年会議所、心身障害児（者）父母の会、しゅらの郷あゆみ、わっと・まつしの、藤共同作業所、賀光会賀光寮、さくら福祉訓練所、SLの会、TAFの会、虹の会、梅のさとオルゴールクラブ、藤井寺六星会、手話サークルふじいでら、自助具の会など、観光ボランティアの会、お手玉サークル“遊”、シルバーアドバイザー藤井寺、傾聴ボランティアやまびこ、朗読の会ひびき、おはなしこりん、NICE!藤井寺バンド、いきいき歌体操藤井寺グループ、琴修会、AloAloフラサークル、唄ってバンド、劇団NICE!、ジョイフルクワイア、健康体力教室、藤井寺市民音楽団、介護保険事業所連絡協議会（順不同）

共同募金コーナー
風船プレゼント



今回のスローガシ
～笑顔でつなげよう(^▽^)ふくしまつり～

【注意事項】

- ・駐車場には、限りがあります。
- ・駐車場内の事故・盗難等のトラブルの責任は負いかねます。
- ・できるかぎり公共交通機関か、自転車、徒歩でお越しくださいますようよろしくお願ひします。

3階

- ・喫茶コーナー
- ・アンティークオルゴール演奏

4階

【障がい者施設販売】

- ・しゅらの郷あゆみ
- ・わっと・まつしの
- ・藤共同作業所
- ・賀光会賀光寮
- ・さくら福祉訓練所
- ・藤井寺ぬりえ
- ・紙芝居
- ・小物づくり
- ・自助具づくり
- ・おもちゃづくり
- ・ぶんぶんごまづくり
- ・折り紙サロン
- ・介護保険事業者連絡協議会

開会式で絵画コンクールの表彰式をおこないます。

<会場までの地図>

